

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって競技を行う。
2. 招集は雨天練習場で行う。競技者係の指示に従い必ず点呼を受けること。
点呼・・・招集開始時刻より競技者係の点呼を受け、ナンバー、腰ナンバー、スパイクシューズの点検を受ける。
(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の招集点呼を受けられない場合はあらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出して確認してもらい、指示を受けること。
点呼を受けないものは棄権するものとみなし出場を認めない。
3. 走幅跳・三段跳についてはトップ8までは2ピットを使用し、トップ8以降は1ピットで行う。
4. リレーのオーダー用紙の提出は次のとおりとする。

	提出先	提出時間・その他	
予選	競技者係	4×100m	あらかじめ配布した用紙(各校配布済)を使用し、当日朝8:20までに提出する
		4×400m	前日14:00～15:00までに提出する。 それ以降変更のある場合は当日の朝8:20までに再提出すること。
決勝	競技者係	招集完了時刻の2時間前～1時間前までに提出すること。	

5. プログラム記載の氏名、ナンバー等に誤りがあれば、大会総務に申し出て訂正してもらう。
6. ナンバーカードは胸部・背部にしっかりとつける。(招集時に点検する。)
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれか一方でもよい。
1500m、3000mSCの出場者には腰ナンバーを、5000m、3000m、5000mWの出場者には別ナンバー、腰ナンバーを渡す。
それ以外の種目の出場者にはついては各校で腰ナンバーを用意すること。
7. 腰ナンバーは各自がプログラム記載のレーン番号と同様のものを右腰やや後方につける。
四隅をしっかり固定すること。
8. やりは各自持参のものを検査をうけて使用してもよい。検査は第1コーナーの用器具庫で行う。
検査時間： 男女やり投 招集開始の20分前から10分間で行う。
男子9:00～9:10 女子11:30～11:40
9. 競技場は全天候性であるので9mm以下の全天候性のスパイクピンを使用すること。
(走高跳、やり投げは12mm以下)
10. 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。(天候等、審判員の判断で変更することがある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	
男走高跳	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1m75以降3cmきざみ
女走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1m45以降3cmきざみ
男棒高跳	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3m00以降10cmきざみ
女棒高跳	1.50	1.70	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	1m90以降10cmきざみ

第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

11. 男子5000m・女子3000m・男女5000mWはグループスタートで行う。
12. 競技運営の都合上、5000m、3000mSC、5000mW、女3000m、女5000mWは著しく遅れ先頭に抜かれたものは競技を中止してもらう場合がある。また、時間制限として5000mでは20分、3000mSCでは13分、5000mWでは40分、女子3000mでは13分、女子5000mWでは40分を目安とする。
13. ウォーミングアップについては、2日間ともサブトラックで行うこと。ただし、芝生への立入は禁止する。
14. その他
 - 1) 補助員については各校2～4名を出すこと。指示を受けてから任務へつくこと。
 - 2) 各自の荷物は盗難にあわないよう各自で注意すること。